

令和4年度第2回富里市男女共同参画社会づくり懇談会

議 事 録

〈日時〉 令和4年9月2日（金）

午後2時00分～2時36分

〈場所〉 すこやかセンター2階会議室1

■出席者

【委員】 渡邊薫座長（教育関係者）

秋葉隆座長職務代理者（富里市商工会）

田口実栄子委員（千葉県男女共同参画地域推進員）

古賀恵美子委員（まちづくりコーディネーター）

大森秀明委員（公募委員）

鈴木隆次委員（富里市企画財政部長）

【事務局】 細野経営戦略課長、藤田課長補佐、小澤主査補

【傍聴人】 なし

■配布資料

- ・ 令和4年度第2回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第
- ・ 資料1 富里市男女共同参画計画（第3次）（骨子案）
- ・ 資料2 富里市男女共同参画計画（第3次）骨子案概要

■次第

1 開会

2 座長あいさつ

3 議題

富里市男女共同参画計画（第3次）骨子案について（資料1・資料2）

【事務局】 資料1及び資料2に基づき説明。

【委員】 前回、懇談会があった時に、第3次計画の中身については、前回の計画のように「何をやったかわからなくならないようにやります」という話だったと思うが、これだとどのような感じになるのか、全然予想がつかない。これを見て、他の課から内容が出てきますと言われたときに、どんな風に内容があがってくるのか、どのように決めるのか気になった。

【座長】 骨子案ということだが、そのあたりを御説明いただけるか。

【事務局】 今日お示ししたのは、あくまで骨子案・骨格になるので、具体的な施策の展開については今後になる。委員から指摘があった数値目標については、前回いただいた御意見も踏まえながら設定する予定。本日はこの段階しかお示しできないが、今後詳細は詰めていくというところである。

【委員】 中身についてはこれからだと思うが、その表し方について、以前から懇談会に参加させていただいている中で、いつも「これをやったからA」「100%できた」といった回答しかされず、どういう結果なのかという話が全然できなかったところを踏まえてもらい、中身を作るときは、やはり結果がわかるような素案にしてもらいたいと思う。

【座長】 評価も踏まえてというところは、重々考えておられると思うが、進めていただければと思う。

【委員】 計画策定ということで、しっかりしたことが書いてあるが、我々はこのを見ればわかるが、市民にどうやって伝えるか。また実行をどのようにしていくか。市の中の職員だけが徹底するのではなく、市全体にどのようにというところがあまり具体的に表していないのではないか。市民に対してどのように進めていきますということが書いてあればわかるので、計画が全てできた段階でどうやって市民に伝えるか。新聞か、広報か、パンフレットを作るのか。

【事務局】 まず、計画の策定にあたって、資料2の11ページに今後のスケジュール案ということでお示ししているが、12月ぐらいに具体的な施策などを入れた素案が出来、そこから2週間程度の期間を設けて、パブリックコメントを実施する。そこで市民の皆様からこの計画案

に対する御意見をいただく予定。その後、計画が出来上がったら、市のホームページ等々で周知させていただく予定である。

【委員】 このスケジュールの中で、推進本部会議は記載があるが、他に研究会議か研究会があるとおっしゃっていた記憶がある。どのぐらいの頻度でその研究会議をして、この骨子や素案を皆さんで考えているのか。どのぐらいこれについて勉強しているのか、もしくは男女共同参画やSDGsの講習とか、そういったところにどういう形で参加して、これを決めているのか、話し合いをされているのか。素案を作るにあたって、どのぐらいの回数、準備をされているのか。

【事務局】 まず庁内の組織について、推進本部会議の下に研究班会議がある。現在、骨子案まで出来上がっているが、これからいろいろな施策を検討していく上で、研究班会議の中で揉んでいく。現段階では何回で出来上がるかわからないので、お示しできる状況ではない。また、研究班の班員が男女共同参画に関する研修を受けているかという御質問について、そういった研修会は今年度予定していない。

【委員】 私も県の研修に参加していると、いろいろなことがあるので、詳しい人がいないと、中身がはっきりわからないのではないかと。決めるにあたっては、それぞれ各課にもしっかり勉強されてわかる人がいないと、この素案を作るにしても、取組がこういうものだところから引っ張ってきて、ただ書面をみてそうだねと話をすると、ちゃんと勉強してから話し合いをするのでは、決め方が違うと思う。話し合いをする前に、そういったところで研修をすることはいいのか、やっていただくと安心。何もない人たちが作るものに対して、市民としては不安。いいものがないと思う。

【事務局】 今年度研修会などを行う予定はないが、職員は、男女共同参画の大切さやその趣旨は皆理解している。その中で、各課が専門的に推進しなければいけない部分については、専門の担当課としての施策を行っていくので、全くの素人が何もわからず作っているということではない。

【委員】 これから各担当の部署から具体的な案が出てくると思うが、昨年度の実施計画等を拝見した中で、同じようなことを別の部署でもやっ

ているというのが見受けられたので、そのあたりを横断的に部署同士で連携しながら、協力してやっていければいいと思う。その点をこれから検討できるのかお伺いしたい。

また、これからの5か年計画で出ているものが、広く捉えられるような基本方針になっているので、そのあたり柔軟に捉えながらいけるようなものであってほしいと思う。

【事務局】 まず1点目、事業の内容にもよるが、一緒にやった方が効果はあると思うので、これから施策を考えていく中で、今いただいたご意見を踏まえて調整していく。

また、基本方針については、今回3つにしている。5つあったものが3つになるので、少ないという御意見もあるかと思うが、今後その具体的な施策の取組の中で、今までと変わらず、それ以上のものができるよう細かな施策の展開をしていきたい。

【委員】 3つになったので、私としては、良い方に捉えていて、もっと柔軟な捉え方ができると思っている。

【委員】 補足的な話になるが、国と県と市と関連があり、同じような基本方針の中で、先ほどおっしゃっていたように柔軟性が非常に大事な中で、富里市ならではというか、富里市だからできること、やっていかなきゃいけないこともあると思う。その辺をもう少し具体的に、「これは富里市だからやっていく」というものがあると、更にプラスアルファをして良いものができるという気がする。どうしても関連性のある国と県と振り分けが多いと思うが、似たような感じで流していく中で、「ここの部分については富里市だよ」というように具体的に示されると、非常に良いのではないかと個人的な意見として感じた。

【事務局】 富里独自の施策や特徴を出せたらということだが、施策が広いものの中で突出して「富里はこれだよ」という打ち出し方はなかなか難しいところではあるが、御意見を踏まえ、今後検討していきたい。

【座長】 男女共同参画で富里市らしさというと、私も今考えているところだが、確かに難しい。

【委員】基本方針から理念になり具体的な施策に移っていくが、どう見ても同じようなものになってしまうのが常だと思うが、だからそこで、富里である以上はこうだよなというのがあったら伝わりやすい。一般論としてどうしても、こういうことは誰が見てもということになると思うが、具体的にと言われると難しい感じがするが、そういった部分も考えていただきたい。

【委員】男女雇用機会均等法ができてから、なかなか進まない。具体的に「こうしなさい」「ああしなさい」ということじゃなくて、道徳的な話し合いの中で、「こうしましょう」「ああしましょう」だけで流れてきたからではないか。そこで富里市として何かあげるとしたら、富里市も市議会議員が18人いるので、このうち5人、30%は女性にするというアドバルーンを上げたら、皆さん気が付くのではないか。なぜそんなに女性女性と言うのか、皆が気付くと思う。今はそんなに当選してない。だからその辺から変えていくと、みんなに広がっていくのではないか。その辺のところを大きく考えていかないと、少し我慢してこのぐらいというところをいかないと、下から上に行ったら話し合いをしても何もできないという結果に終わっている。だから雇用機会均等法もこのような展開になっている。だから、富里市らしいということは、まずそこからアドバルーンを上げて何かやっていかなければならないのではないかと。

また、他には各区の問題がある。各区や自治会の男女バランスがどうなっているか。みんな区長は男性で、女性はあまり見たことない。それでは市はどう指導しているのか。いつもOKと丸をつけているけども全然できてない。指導しているのか？ということをもまず言わないといけないと思う。下まで徹底させるには、上からどんどんおろしていかないといけない。市の担当の方から区長の方へ、そして区長から住民に伝わっていくかということ、その辺を考えないと我々が一生懸命難しい部分を考えてもどうにもならない。

【委員】きっと今言われたのは、フランスでは女性議員を半分にするということを国で決めたことや、スウェーデンやフランス、北欧では、女性の議員や社長の数がデータ上で出ているということをお話ししていただけたのかなと思う。

【座長】女性が活躍する場ということで、議員さんに限らずいろんな場で、市役所の班長や主幹とかそういう役職を持っている人も随分女性が

増えた。だから長い目でみると随分変わってきているということを感じている。ただやはりそれが一般の人はわからない。その辺のところも課題かもしれないが、女性が活躍すると機会をいろんな場面で増やしていければと思う。

4 その他

○田口委員から「令和4年度千葉県男女共同参画推進員事業男女共同参画の基礎について」の報告をいただいた。

5 閉会